

4. ごめんね

あつたま、いたつ……

あちゃー、またやつちやつた…

…あ、ごめんねえ、今片づけるから。

私さあ、あんまりお酒強くないぐせに、よく飲んでは記憶無くして。

…やだ！私キャミとパンツしか着てない！

うわあ～、引いたよね？ごめんね。

私寝るときはいつもこんな状態なの。

夏は特に、余計な服とかあんまり纏いたくないな～って。

…仕事の時はスーツだし、男の人はノータイ、ノージャケットなのに、
女はジャケット脱げないってなんか不公平よね。

それでも、仕事は好き。

没頭できるし、何より達成感もある。

男女関係なく、数字が全てだから、そういうところも楽しいかな。

君も営業だったから、わかるでしょ？

……そつかあ、希望したわけじゃなく、配属されたのが営業だったんだ。

私はね、あえて希望を出したの。

…初めは受付だったんだ。

それも大切な仕事なんだけど、私は受付に来る、女性の営業さんに憧れた。

常に前を向いて、何かを追いかけて、生きてるって実感してそうでね？

毎日なんとなく過ごしていた私とは、明らかに何かが違ったの。

だから、営業になりたいって希望したの。

確かに大変だけど、やっぱり達成感はある。

…といえば、お酒の量は増えちゃったかなー。

身体には良くないのかもね。

…私の話ばっかりしちゃったね。

……具合はどう？

……そっか、それならよかったです。

もう少し栄養のある料理とか作って上げられたら良かったんだけど、

今は買ってきただのもも栄養豊富で美味しいから、大丈夫だよね？

え、行くって…どこへ？

これ以上世話をかけられないって…行く当て、あるの？

……言ったでしょ？私が君に、投資するって。

まずは、体調を万全にすること！

職探しはそれからじゃないと…、かかるものも受からないよ？

……ほら、まだ顔が赤い。

まだ熱があるのかなあ。

無理矢理退院しないで、一日二日入院した方が良かったんじゃない？

……え、大丈夫？

それならいいんだけど。

そういうえば、私昨日君に失礼なことしなかった？

…かなり酔っちゃったから、飲み始めたくらいまでしか記憶がなくて。

……うわあ、やっぱり何かしちゃったんだ。

ごめんね、私昔から酒癖悪くて、新入社員の時、歓迎会で酔って泣いて暴れて以来、外じゃ飲まないようにしてたんだけど…、彼氏と別れてタガが外れちゃったみたいで。

……私、何やらかした？

……たいしたことじゃない？

でも、話してくれないとろを見ると、愚痴ったり泣いたり大変だったでしょ？

…しばらくは禁酒します。

……そう？そこまでしなくていいかな？

じゃあ、仕事の前日はたしなむ程度にしておくね。

君はやさしいから、昨日のことは何も言ってくれなかった。

一緒に、私の弱いところも全部さらけだしたから、言わずにいてくれたんだと思う。

私は本当はほんの少し、お酒の酔いから解放されて、

逆にセックスの気持ち良さで目が覚めて…

だから、君が私とセックスしたって、言ってくれるのを待ってたんだ…。

私はずるい人間だ。

私から言ってしまったなら…、元カレみたいに私を利用して、

いつか飽きてしまうんじゃないかと思ったの。

でも、いつかどうせ居なくなってしまうなら、もっと早く言えばよかったです…。